

コメント

1 インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

いずれも定点当たり0.45人の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、基本的な感染予防対策を心がけましょう。

2 RSウイルス感染症

定点当たり0.88人の報告がありました。症状は発熱、鼻汁、咳などの風邪様症状から重い肺炎まで様々です。感染経路は接触感染と飛沫感染で、潜伏期間は2～8日です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。また、4月から妊娠中の女性を対象とした母子免疫ワクチンが定期接種となりました。対象者は早めに接種を受けましょう。

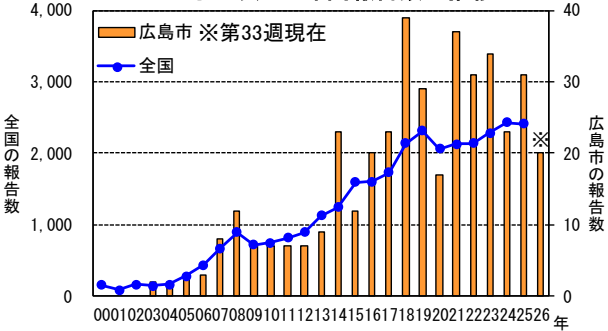
3 レジオネラ症

今年の累計は20件となりました。レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)の吸入などによって感染する細菌感染症で、夏から秋に多い傾向です。

病型の一つであるレジオネラ肺炎は、2～10日の潜伏期間の後、咳、38℃以上の高熱、悪寒、胸痛、呼吸困難などの症状が出現します。高齢者や新生児、免疫機能が低下している人は、肺炎を起こす可能性が高く、特に注意が必要です。

循環式浴槽、加湿器、冷却塔、入浴施設などによる感染事例の報告がされており、これらの維持管理を適切に行うことが大切です。

レジオネラ症の年間報告数の推移



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定 点 種 別	疾患名	報 告 数	定 点 当 た り	平 均 （ 注 ） 過 去 5 年 間	発 生 記 号	定 点 種 別	疾患名	報 告 数	定 点 当 た り	平 均 （ 注 ） 過 去 5 年 間	発 生 記 号	急増減			前週と比較しておおむね 1:2以上の増減								
A R I	急性呼吸器感染症（ARI）	651	22.45		小 児 科	突発性発しん	-	-	0.16			増減			前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減								
	インフルエンザ	13	0.45	0.15		ヘルパンギーナ	-	-	0.24			微増減			前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減								
	新型コロナ（COVID-19）	13	0.45			流行性耳下腺炎	-	-	0.02			横ばい			ほとんど増減なし								
小 児 科	RSウイルス感染症	15	0.88	1.16	眼 科	急性出血性結膜炎	-	-	-			報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。 <table border="1"><tr><td>急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）</td><td>29</td></tr><tr><td>小児科定点数</td><td>17</td></tr><tr><td>眼科定点数</td><td>8</td></tr><tr><td>基幹定点数</td><td>6</td></tr></table>				急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）	29	小児科定点数	17	眼科定点数	8	基幹定点数	6
	急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）	29																					
	小児科定点数	17																					
	眼科定点数	8																					
	基幹定点数	6																					
	咽頭結膜熱	3	0.18	0.11	流行性角結膜炎	-	-	0.44															
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.88	0.77	基 幹	細菌性髄膜炎	-	-	-														
感染性胃腸炎	34	2.00	1.67	無菌性髄膜炎		1	0.17	-															
水痘	3	0.18	0.11	マイコプラズマ肺炎		6	1.00	1.98															
手足口病	15	0.88	1.77	クラミジア肺炎（オウム病を除く）		-	-	-															
伝染性紅斑	1	0.06	0.39	感染性胃腸炎（ロタウイルス）		-	-	-															
												(注) 過去5年間の同時期平均 (定点当たり)											

今週(第33週)は、お盆の休診により、報告数が影響を受けている可能性があり、前週(第32週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	1	20	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	14	70歳代
5	梅毒	1	77	30歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス感染症	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第29週	1,986	1	19	7	8	46	87	3	113	-	4	44	1	-	2	-	-	8	-	-	-
		第30週	1,534	3	32	12	9	27	62	6	67	-	7	21	-	-	2	-	-	6	-	1	-
		第31週	1,638	8	16	6	6	35	78	4	71	-	5	19	1	-	2	-	-	-	-	-	-
		第32週	1,376	16	18	13	9	30	79	7	53	-	6	20	1	-	1	-	-	3	-	-	-
		第33週	651	13	13	15	3	15	34	3	15	1	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-
定点当たり	広島市	第29週	58.41	0.03	0.56	0.33	0.38	2.19	4.14	0.14	5.38	-	0.19	2.10	0.05	-	0.25	-	-	1.33	-	-	-
		第30週	45.12	0.09	0.94	0.57	0.43	1.29	2.95	0.29	3.19	-	0.33	1.00	-	-	0.25	-	-	1.00	-	0.17	-
		第31週	48.18	0.24	0.47	0.29	0.29	1.67	3.71	0.19	3.38	-	0.24	0.90	0.05	-	0.25	-	-	-	-	-	-
		第32週	41.70	0.48	0.55	0.65	0.45	1.50	3.95	0.35	2.65	-	0.30	1.00	0.05	-	0.13	-	-	0.50	-	-	-
		第33週	22.45	0.45	0.45	0.88	0.18	0.88	2.00	0.18	0.88	0.06	-	-	-	-	-	-	0.17	1.00	-	-	-
全国		第31週	44.95	0.37	1.69	0.51	0.31	1.37	3.43	0.26	6.03	0.03	0.30	1.59	0.04	0.01	0.49	0.02	0.05	0.35	0.01	-	-
		第32週	44.08	0.52	1.79	0.64	0.27	1.30	3.46	0.25	4.69	0.04	0.29	1.31	0.03	-	0.50	0.01	0.05	0.40	0.01	-	-

■ 病原体検出状況 (ARIサーベイランス) 感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H1N1pdm09	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (ビクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第28週	12	11								2			2		7	1	2
第29週	13	11					1			2	2		1		7	1	1
第30週	16	14					2	2		2	3		1		3	1	2
第31週	15	9	1				1				3		2		1		1
第32週	11	5					1			1			2		1		

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む (検査: 広島市衛生研究所) 詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)

【参考】帰国後に体調が悪くなら

海外旅行から帰ってきて、何らかの体調不良を訴える方は、実に全旅行者の数十パーセントに及ぶと言われています。中でも下痢などの胃腸症状、発疹など皮膚の異常、咳、そして発熱がよくみられる症状です。

胃腸症状

海外旅行に行った人の半数以上が旅行先で下痢になります。症状が長引く場合や、発熱や血便などもある場合は、受診しましょう。

皮膚の異常

痛み、かゆみ、発疹などの皮膚の異常に加えて、発熱もみられる場合、速やかに受診する必要があります。

発熱

自然におさまることもありますが、マラリアやデング熱の流行地域を訪れた後に発熱した場合は、必ず受診しましょう。

海外旅行後の体調不良には、思わぬ感染症が潜んでいる可能性があります。早めに医療機関で受診しましょう。また、受診にあたっては、症状に加えて次の情報を整理しておき、医師に伝えましょう。

- ◆ 旅行先 ◆ 旅行期間 ◆ 旅行目的 ◆ 旅行中の行動(食事の状況、虫さされ、動物との接触など)
◆ 宿泊先の状況(虫よけができていたかなど) ◆ 旅行前の予防接種



【参考】旅行から帰って(厚生労働省検疫所 FORTH) <https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/attention05.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

